

個人調書(履歴書)作成時における留意事項

1. 『履歴書』について

「生年月日(年齢)」の欄の年齢は、記入日現在における満年齢を記入すること。

「学歴」の欄には、大学もしくは高等専門学校またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入すること。

なお、学位・称号等についても同欄に記入すること。

「職歴」の欄には、職歴すべてについて記入し、職名、地位等についても明記すること。

「教員組織審査」の欄には、過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、職名および担当授業科目名(大学院にあっては、判定結果(合・合)を含む)を記入すること。

「学会および社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入すること。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入すること。

「職務の状況」の欄には、記入日現在における職務の状況について記入すること。

教員以外の者については、勤務先、職名の欄のみ記入するとともに、現在の職務内容を備考欄に簡潔に記入してください。

(様式例)

学長及び専任教員の個人調書

(その1)

履 歴 書								
氏 名		男・女	生年月日 (年齢)	昭和 年 月 日(満 才)				
本籍地又は国籍	県		現 住 所					
月額基本給(千円)	千円							
学 歴								
年 月	事 項							
(例)	(例)							
昭和 年 月	大学	学部	学科入学					
昭和 年 月	大学	学部	学科卒業(××学士)					
昭和 年 月	大学	学部	専攻××課程入学(又は、大学大学院 専攻××課程入学)					
昭和 年 月	大学	学部	専攻××課程修了(××修士)					
(資格)								
昭和 年 月	医師免許取得(医籍登録第 号)等を記入。							
昭和 年 月	医学博士(大学第 号)							
職 歴								
年 月	事 項							
昭和 年 月	(常 勤)							
昭和 年 月	病院(所属部署)	勤務(昭 . まで)						
昭和 年 月	大学	学部	学科講師(担当科目全て記入)(現在に至る)					
昭和 年 月	(非常勤)							
昭和 年 月	大学	学部	学科非常勤講師(担当科目全て)(昭 . まで)					
昭和 年 月	大学	学部	学科非常勤講師(担当科目全て)(現在に至る)					
(教員組織審査)								
平成 年 月	大学設置・学校法人審議会教員組織審査(大学 学部 学科 [講師] 論、 学)の資格ありと判定							
学会及び社会における活動等								
年 月	事 項							
昭和 年 月	(学 会)							
昭和 年 月	学会(平10.11まで)							
昭和 年 月	学会(現在に至る)							
平成 年 月	(社会における活動等)							
平成 年 月	県介護認定審査委員会委員(現在に至る)							
賞 罰								
年 月	事 項							
	なし							
職 務 の 状 況								
勤務先	職名	学部・学科等 (所属部局)の 名 称	担当授業 科 目 名	毎週担当授業時間数				備 考
				専任	兼任	兼任	計	
大学	講 師	学部 学科	担当科目名	1			1	
大学	非常勤 講 師	学部 学科	担当科目名			1	1	

2. 『教育研究業績書』について

この業績書は教員判定の中心となる書類です。例年、記載内容に不備があり判定できない場合がありますので、特に留意してください。

担当科目等に関連する教育上の業績、職務上の実績があり審査の対象として希望する場合は、その業績等を積極的に記載してください。(記入方法については項目例および様式例参照)

担当授業科目等に関連する主要な著書、学术论文等(発行または発表が予定されているものを含む)について作成すること。

「著書、学术论文等の名称」の欄には著書、学术论文およびその他の順に、それぞれ年月順に、番号を付して記入すること。

著書、学术论文、学会発表及びその他の順に適切に区分し、年月順(過去 現在)に記入してください。

「概要」の欄には著書、学术论文等の概要について各著書、学术论文等ごとに200字程度で記入すること。

なお、共著の場合は担当部分および頁数を明記し、また、本人の氏名を含め、著作者全員の氏名を、当該著書、学术论文等に記載された順に記入すること。

「概要」の欄の記入に当たっては、著書、学术论文等の概要および頁数を明確かつ簡潔に記入してください。

共著の場合は、本人の担当部分(概要および掲載頁(p00~p00)を示してください)を明記し、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を、当該著書、学术论文等に記載された順(例: 編者、著者、x x x)に記入してください。

なお、本人の担当部分を抽出することが困難な場合は、その理由を明記してください。

(様式例)

教育研究業績書		
平成 年 月 日 氏名		
教育上の能力に関する事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
2 作成した教科書、教材		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
3 当該教員の教育上の能力等に関する大学の評価		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
4 実務家教員についての特記事項		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
5 その他		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
職務上の実績に関する事項	年月日	概要
1 資格、免許		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
2 特許等		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
4 実務家教員についての特記事項		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	
4 その他		
(1)	年 月 日	
(2)	年 月 日	

(項目例)

【教育上の能力に関する事項】

- ・優れた教育方法の実践例
- ・作成した教科書、教材の概要
- ・各大学で自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容)
- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要

【職務上の実績に関する事項】

企業、官公庁等の研究者の場合

- ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
- ・取得した特許等の概要
- ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

その他企業・団体等関係者

- ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

情報技術関係者の場合

- ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用方法、ソフト、システム開発歴）

マスコミ関係者の場合

- ・執筆した記事の概要
- ・製作した番組の概要

法曹関係者の場合

- ・関係した訴訟等での活動や判決の概要

医師や看護婦等医療技術者の場合

- ・症例研究会での発表等の活動

福祉その他社会的活動の関係者の場合

- ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位

スポーツ等実技関係者の場合

- ・指導者としての経歴・実績・資格

芸術関係者の場合

- ・作品の概要

博物館、美術館等関係者の場合

- ・担当した展覧会の概要
- ・執筆・監修した展覧会図録の概要

その他全般を通じて

- ・各種の資格取得、受賞等の経歴
- ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習、企業実習等）
- ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座等の講師としての講義等の概要

（様式例）

著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. 著書名	著	昭 .	出版	著書、学術論文等の概要について各著書、学術論文等ごとに200字程度で記入すること。 A4判 総頁数 頁 編者： 著者： 、本人氏名、 担当部分：概要および掲載頁(p00～p00)を示してください。
2 .	著	昭 .	出版
(学術論文) 1. 発表論文名	著	平 .	出版 発表雑誌名等 A4判 総頁数 頁 編者： 著者： 、本人氏名、 担当部分：概要および掲載頁(p00～p00)を示してください。
2 .	著	昭 .	発表雑誌名等
(学会発表) 1. 発表論文名	著	平 .	学会 発表大会名等 (会場名称等) <例> (於 大学) A4判 総頁数 頁 著者： 、本人氏名、 担当部分：概要および掲載頁(p00～p00)を示してください。
2 .	単独	昭 .	学会

著書、学術論文およびその他の順に適切に区分し、年月順(過去 現在)に記入してください。

「概要」の欄の記入に当たっては、著書、学術論文等の概要および頁数を明確かつ簡潔に記入してください。

共著の場合は、本人の担当部分（概要および掲載頁(p00～p00)を示してください）を明記し、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を、当該著書、学術論文等に記載された順（例：編者、著者、×××）に記入してください。

なお、本人の担当部分を抽出することが困難な場合は、その理由を明記してください。

学会誌等に発表予定のものについては、その旨の証明証を添付してください。なお、投稿予定のものを含めないでください。